

大友氏遺跡 史跡指定20周年記念誌

# 大友氏遺跡 20年の軌跡

～地域と大友氏遺跡事業のあゆみ～



大分市・大分市教育委員会  
2022





巻頭図版1 1999年の大友氏遺跡 全景

[撮影:1999年(平成11)3月頃 北東より]

大友氏館庭園跡の発掘調査が始まった頃の写真。JR日豊本線の高架事業や大友氏館跡東側を通る国道10号の拡幅、庄の原佐野線などの道路工事が行われる以前の風景を見ることができます。黄色の線で示した場所は、国指定史跡 大友氏遺跡を構成する5つの遺跡を示しています。



巻頭図版2 2019年の大友氏遺跡 全景

[撮影:2019年(平成31)1月 北東より]

上の写真から20年後の風景。大友氏館跡と周辺の生活環境は大きく変わりました。館跡には南蛮BVNGO交流館が開館し、2020年3月末の完成にむけて、庭園整備工事が急ピッチで進んでいる様子を見ることができます。また旧万寿寺跡には多目的広場が整備されています。



巻頭図版3 戦国時代の府内のまち復元イメージCG

(2018年9月作成)

1996年から本格化した発掘調査や研究成果と「府内古図」などを参考に作成したCGです。まちの中央には「大友館」、大分川沿いには東西250m以上、南北約360mもの規模を誇る巨大寺院「万寿寺」が存在感をもって鎮座しています。府内のまちには20を超える寺社の他、5000軒もの家屋が建ち並ぶ全国有数の国際貿易都市として栄えました。



巻頭図版4 府内古図

(個人蔵)

江戸時代の府内藩主日根野吉明が、戦国時代の府内のまちを偲んで当時を知る住民の情報に基づき描かせたといわれる絵図です。「大友館」や「万寿寺（万寿寺）」等の施設が描かれ、道路上には「唐人町」などの町名と町境を示す施設である木戸を確認でき、戦国時代の府内のまちの様子を示す貴重な資料となっています。





[出典:国土地理院撮影の空中写真(昭和50年3月撮影)]

### 巻頭図版8 1975年の大友氏館跡

大友氏館跡の範囲にある白い屋根の大きな建物は、1962年～1995年までであった工場です。後に、この工場跡地から庭園跡が発見されました。



[平成13年に撮影した空中写真に平成20年頃までの発掘調査成果を合成]

### 巻頭図版9 2001年の大友氏館跡

2001年に撮影した空中写真に発掘現場写真を合成したもの。1999年から2000年代にかけてJR高架事業や国道10号拡幅に伴う発掘調査が行われ、多くの発見がありました。



[平成21年12月撮影]

### 巻頭図版10 2009年の大友氏館跡

2001年に大友氏館跡が国史跡に指定されて以降、土地の公有化が進んだことで館の内部は再び建物のない平地へと変わり、数多くの発掘調査が行われました。JR高架事業が完了し、大友氏館跡南側には県道21号(庄の原佐野線)が新設されるなど、館跡周囲の景観も大きく変わりました。



[平成29年10月撮影]

### 巻頭図版11 2017年の大友氏館跡

館南東部に見える水溜りは発掘が完了し整備工事をまつ庭園の池跡です。写真中央上端には、2017年に整備が完了したばかりの市道長浜錦町線が見えます。この市道整備に伴い府内のまちの発掘調査が行われました。



[撮影: 2017年(平成29)8月 東より]

### 巻頭図版12 庭園跡 発掘調査風景

JRの高架事業が完了し、鉄道線路内にあったために発掘調査できなかった庭園跡南側の発掘調査が2012年より始まります。約5年に及ぶ発掘調査とその後の研究成果を踏まえて、整備に向けた具体的な検討が行われ、2018年8月から庭園の整備工事に着手しました。写真は整備に伴う庭園跡の最後の調査風景です。



[撮影: 2020年(令和2)4月 東より]

### 巻頭図版13 大友氏館跡庭園

2020年3月に整備工事が完了した大友氏館跡庭園でしたが、新型コロナウイルスの感染症の予防・拡大防止のため、一般公開の開始は6月に延期されました。上の写真とほぼ同じアングルで撮影したもので、見比べるとどこがどのように復元整備されたかが分かります。



#### 巻頭図版14 大友氏館跡の確認調査

[撮影:1996年(平成8)10月 西より]

1996年、顕徳町3丁目の工場跡地で確認調査が行われ、戦国時代のものと思われる巨大な石などが発見されたことが大友氏館跡発見へとつながりました。当時、国道10号にはJR日豊本線・豊肥線を跨ぐ陸橋「万寿橋」があり、遺跡の東側(国道側)は高い擁壁がそびえているなど、現在とは全く異なる景色でした。



#### 巻頭図版15 大友氏館跡の庭園周辺風景

[撮影:2011年(平成23)8月 西より]

1998年、この場所は大友氏館跡の庭園跡と判断されました。庭園の南側はJR日豊本線の線路上にあったことから、線路の高架事業が完了するまで一度埋戻されました。写真右の濃い緑色の部分が旧線路敷の位置です。写真中央付近では大友氏館跡第25次調査が行われています。広大な庭園エリアは夏になると雑草が繁茂するため、幾度となく文化財課職員総出で草刈りを行い維持管理に努めました。庭園跡の調査はこの写真から1年後の2012年9月から再開し、その後戦国時代の大名館庭園のなかでも最大規模であることが明らかとなります。



[撮影:1998年(平成10)8月 南東より]

巻頭図版16 庭園池跡検出状況



[撮影:1998年(平成10)10月 南より]

巻頭図版17 庭園池跡景石の調査状況



[撮影:1998年(平成10)10月 西より]

巻頭図版18 庭園池跡掘削状況



[撮影:1998年(平成10)11月 西より]

巻頭図版19 庭園池跡掘削状況



[撮影:1999年(平成11)5月 西より]

巻頭図版20 大友氏館跡庭園の調査(大友氏館跡第1次調査)

1998年の発掘調査によって、2年前に確認されていた巨大な景石の全貌が現れ、その巨石は後に、大友館の庭園に置かれた石であることが分かりました。JR日豊本線が高架になる前の調査であり、庭園の築山にあたる付近には線路が敷設されています。



[撮影:1999年(平成11)5月 西より(柴田義弘氏提供)]

巻頭図版21 現地説明会風景 第1次調査



[撮影:1999年(平成11)5月 北より(柴田義弘氏提供)]

巻頭図版22 現地説明会風景 第2次調査



[撮影:2006年(平成18)10月 北東より]

巻頭図版23 現地説明会風景 第17次調査



[撮影:2008年(平成20)8月 西より]

巻頭図版24 高級陶磁器片の発見 第21次調査



[撮影:2011年(平成23)10月 北より]

巻頭図版25 かわらけ廃棄土坑調査風景 第26次調査



[撮影:2012年(平成24)1月 西より]

巻頭図版26 築地跡土層剥ぎ取り風景 第28次調査



[撮影:2014年(平成26)3月 東より]

巻頭図版27 庭園跡の説明風景 第30次調査

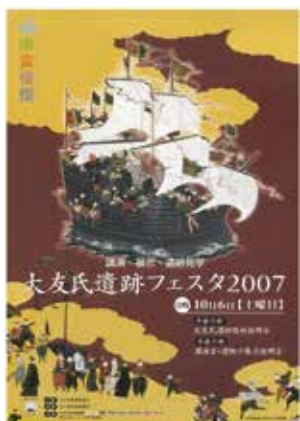


[撮影:2017年(平成29)11月 南東より]

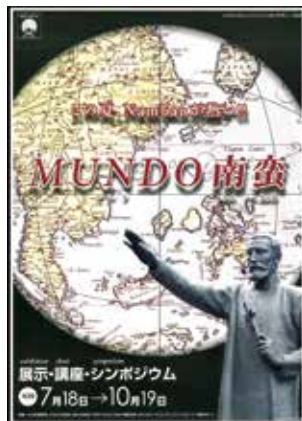
巻頭図版28 中心建物跡周辺調査状況 第36次調査



2005年（10月1日～8日実施）



2007年（10月6日実施）



2008年（7月18日～10月19日実施）



2009年（10月3日実施）



2010年（10月2日・3日実施）



2011年（10月1日・2日実施）



2012年（10月6日・7日実施）



2013年（9月29日・10月5・6日実施）



2014年（10月4日・5日実施）



2015年（10月3日・10日・11日実施）



2016年（9・11月実施）



2017年（10月・11月実施）



2018年（10月27日実施）



2019年（10月13日実施）



2020年（11月14日実施）



2021年（10月30日・31日実施）



夏休み特別連続講座資料集  
～大友氏・大友宗麟についてもっと知ろう～  
2001年（8月28日～31日実施）



大友歴史ウォーク パンフレット  
2001年（9月）



大友宗麟ゆかりの地を訪ねるツアー  
2004年（2月7日実施）



大友氏館跡発掘10周年記念シンポジウム  
2008年（10月5日実施）



大分市誕生100周年記念事業・  
上智大学創立100周年記念事業  
大分市・上智大学連携講座  
大航海時代の歴史探訪  
2013年（10月～12月・全5回実施）



大分市誕生100周年記念事業・  
上智大学創立100周年記念事業  
南蛮文化国際フォーラム  
2013年（8月10日実施）



市民意見交換会  
知ろう! 語ろう! 未来の大友氏歴史公園  
2014年（1月18日実施）



戦国時代三都市講演会一府内・  
白杵/博多/山口へ  
2014年（2月8日・3月1日実施）



キリシタン・南蛮文化交流 首長サミット  
2014年（5月24日実施）



戦国時代の庭園と茶の湯  
2014年（8月10日・10月5日実施）



文化遺産復刻祭  
2014年（11月15日実施）



おおいのキリシタン・  
南蛮文化遺産シンポジウム  
2016年（1月23日実施）



都市間連携歴史講座 つながる歴史  
つながる都市2016年（2月7日・21日実施）



都市間連携歴史講座 つながる歴史  
つながる都市2016年（11月19日実施）



シンポジウム 日本ではじめてのキリシタン・  
南蛮文化が薫るまち おおい  
2017年（1月21日実施）



戸次川の戦い430周年イベント  
歴史講座 2017年（10月28日実施）



戦国大名フォーラムin豊後府内  
2018年（10月20日実施）



大友氏館跡発掘20周年シンポジウム  
2019年（5月12日実施）



おおいの大友学オンラインセミナー  
戦国史シンポジウムinBVNGO  
2021年（3月7日実施）



大友氏遺跡 史跡指定20周年  
記念シンポジウム  
2022年  
（1月29日実施予定だったが4月16日に延期）

<文化財だより>



1996年度号  
特集 今よみがえる宗麟のまち  
1997年3月15日発行



1997年度号  
今よみがえる宗麟の時代  
1998年3月15日発行



2001年度号  
特集 中世大友再発見  
2001年7月15日発行



2006年度号  
特集 中世大友再発見フォーラムⅡ  
府内のまち 宗麟の栄華  
2006年9月15日発行



2012年度号  
貴重な歴史遺産・大友氏遺跡  
2012年10月1日発行



2017年度号  
特集 大分市歴史資料館  
開館30周年記念特別展  
2017年10月15日発行



2018年度号  
特集 大友氏遺跡整備と活用  
2019年3月15日発行

<市報>



市報おいた 特集号  
大友館跡と宗麟  
1999年8月15日発行



市報おいたNo1700  
特集 大友宗麟の真実・ホント  
2017年5月1日発行



市報おいたNo1782  
特集 大友氏館跡庭園完成  
2020年10月1日発行

<中世大友再発見フォーラム資料集>



中世大友再発見フォーラム  
「南蛮都市・豊後府内 都市と交易」  
2001年



中世大友再発見フォーラムⅡ  
「府内のまち 宗麟の栄華」  
2006年



中世大友再発見フォーラムⅢ  
「戦国大名フォーラムin豊後府内  
センゴク大名百花繚乱」  
2018年

<パンフレット>



「よみがえる大友館と南蛮都市」  
2006年



「大友氏遺跡の価値を知る。」  
2013年

<報告書・記録集等>



観光ガイドブック 大友宗麟  
大航海時代を生きた豊後王  
2020年



観光ガイドブック  
大友氏400年とゆかりの地  
2021年



「大友館跡」-発掘調査撮報1-  
2000年



九州地区市町村文化財  
保存整備協議会 BungoFunai  
-大分市に置ける史跡整備の取組み-  
2005年



おおいたのキリシタン・  
南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト  
in大分市 記録集 2016年

<現地説明会資料>



大友氏遺跡現地説明会資料  
2017年（11月3日実施）



大友氏遺跡現地説明会資料  
2018年（10月27日実施）



大友氏遺跡現地説明会資料  
2019年（10月13日実施）



大友氏遺跡  
現地説明会資料  
2020年（11月14日実施）



大友氏遺跡現地説明会資料  
2021年（10月30・31日実施）



遺跡説明リーフレット2017・2018



館内ガイドブック



館内ガイドブック (英語版)



パンフレット



パンフレット (英語版)



ラグビーワールドカップ  
開催時に配布した英語のピラ



2019年12月21日  
日本で2番目のクリスマス  
南蛮BVNGOクリスマス



2019年3月16日  
大友館のおもてなし  
~弥生三月~



2019年5月1~6日  
クイズラリー



2019年6月23日  
水無月 茶会



2019年8月10日  
真夏の夜語り  
in南蛮BVNGO交流館



2020年1月26日  
大友館のおもてなし2020  
大おもて会



2020年3月7日 春待ち 茶会  
(コロナウイルス感染拡大  
防止のため中止)



2020年8月28・29日  
大友氏館跡庭園  
夜 散歩



2020年11月 クイズラリー



2020年12月19日  
鉄砲納め 納射会



2021年1月24日  
鉄砲はじめ 奉射会



2021年3月20日~5月5日  
府内古園でまちあるき



「府内古園でまちあるき」で配布したクリアファイル



2021年11月20・21日  
ガイドによる府内古園で  
まちあるきツアー



2022年2月6日  
大友館のおもてなし2022  
大おもて会  
(3月21日に延期)

FUNAIジュニア検定・大友氏遺跡史跡ボランティアガイド関連



6年 郷土学習資料  
府内から世界へ大友宗麟  
平成25年より毎年刊行



大友宗麟と府内のまち  
平成30年より毎年刊行



FUNAIジュニア検定 チラシ  
2017年7月29日  
第1回を実施



大友氏遺跡史跡  
ボランティアガイド教本 [改訂版]  
2020年3月刊行



大友氏遺跡史跡  
ボランティアガイドによる  
大友氏二歴史講座 チラシ



Funai 府内及び大友氏関連遺跡  
 総合研究年報Ⅰ  
 1992年



大分市歴史資料館ニュース21  
 1993年1月31日



大分市歴史資料館ニュース50  
 2000年3月31日



大分市歴史資料館ニュース54  
 2001年3月31日



大分市歴史資料館ニュース71  
 2005年4月16日



大分市歴史資料館ニュース90  
 2010年2月13日



大分市歴史資料館ニュース111  
 2016年1月16日



大分市歴史資料館ニュース114  
 2017年1月28日



大分市歴史資料館ニュース122  
 2019年7月13日



大分市歴史資料館ニュース124  
 2020年10月3日

<特別展チラシ>



開館5周年記念特別展覇権を  
 めざした英雄たち  
 大友宗麟とその時代  
 1992年10月24日～11月29日



開館15周年記念展大分と茶道具  
 <宗麟・利休の流れ>  
 2002年10月25日～11月24日



平成15年秋季（第22回）  
 特別展 豊後府内 南蛮の彩り  
 ～南蛮の貿易陶磁器～  
 2003年10月24日～11月24日



平成17年秋季（第24回）  
 特別展 都へのおこがれ  
 ～戦国・織豊期の大友氏と豊後  
 2005年10月21日～11月20日



平成25年秋季（第32回）  
 特別展 南蛮屏風の世界  
 ～描かれた都市の賑わい～  
 2013年10月25日～11月24日

刊行物

歴史資料館図録



開館30周年/大友氏館跡発掘調査  
 20周年記念特別展  
 覇権の舞台 よみがえる大友館  
 2017年10月27日～12月4日



開館5周年記念 特別展  
 覇権をめざした英雄たち  
 大友宗麟とその時代



平成15年秋季（第22回）  
 特別展 豊後府内 南蛮の彩り  
 ～南蛮の貿易陶磁器～



平成17年秋季（第24回）  
 特別展 都へのおこがれ  
 戦国・織豊期の大友氏と豊後



平成25年秋季（第32回）  
 特別展 南蛮屏風の世界  
 ～描かれた都市の賑わい～

大分市美術館



開館30周年/大友氏館跡発掘調査  
 20周年記念特別展  
 覇権の舞台 よみがえる大友館



令和3年度特別展（第39回）  
 源氏物語と大友吉統  
 2021年10月16日～11月21日



チラシ 2002FIFAワールドカップ記念文化催事大分現代美術展2002  
 アート循環系サイト2002年5月25日～7月14日



大分市美術館 特別展  
 ザビエル・宗麟・キリスト教  
 南蛮文化の精華  
 2004年9月17日～10月24日



大友氏遺跡体験学習館パンフレット



大友府内旧跡めぐり散策マップ



2015年度(平成27年度)の体験メニューのご案内



体験メニュー  
ふうりんを作ろう! チラシ



大友氏旧跡めぐり  
「鶴賀城に登ろう」しおり



大友氏旧跡めぐり  
「高崎山のお城に登ろう」しおり



館内で放映していた  
「よみがえる宗廟の栄華」  
DVD解説書



平成23年度 大友氏遺跡体験学習館企画展  
「大友氏を支えた家臣団ー宗廟の時代を中心にー」  
パンフレット



市内小学校へ配布した広報紙「勇気りんりん宗廟公たより」  
2012年1月15日号



おおいた応援隊 大友歴史保存会会報  
当初は文化財課と保存会の共同で会報を作成していた



「楽市楽座 おおもて会」  
2012年2月27日

大友氏が行った行事である「おおもて」を現代風にアレンジし、大友氏遺跡の周知と当時のような賑わいを創出することを目的に、ボランティアグループ「おおいた大友歴史保存会」が主体となり大友氏遺跡多目的広場で実施

大分市誕生100年市民企画実施事業で  
おおいた応援隊 大友歴史保存会が実施



「戦国クリスマス 宗廟公まつり  
フェスティビタス・ナタリス」  
2012年12月8日



2008年5月 大友氏遺跡体験学習館の様子



2008年7月 大友氏館跡21次調査  
現地説明会遺物展示コーナー



2008年10月 大友氏遺跡フェスタ2008  
大友氏館跡発掘10周年記念シンポジウム



2012年12月 フェスティタス・ナタリス  
大友宗麟印章をモチーフにしたキャンドルライト



2013年8月 南蛮文化国際フォーラム  
演劇「SORIN 飛翔」



2013年8月 南蛮文化国際フォーラム  
市長による南蛮文化発祥都市宣言



2018年10月 大友氏遺跡フェスタ  
史跡ガイドによる大友氏館跡の解説風景



2018年11月 戦国大名フォーラムin豊後府内  
「センゴク大名百花繚乱」パネルディスカッション風景



2019年12月 南蛮BVNGOクリスマス  
マンドリンコンサート



2020年8月 大友氏館跡庭園夜散歩  
ライトアップされた庭園



2020年11月 大友氏館跡イベント 宗麟館で待つ!  
どこでもコンサートin大友氏館跡オープニングアトラクション



2020年11月 大友氏館跡イベント 宗麟館で待つ!  
FUNAIジュニアガイドによる庭園ガイド



2021年10月 第8回宗麟公まつり・第20回大友氏遺跡フェスタ  
整備された庭園でのお茶会（左上）、大友氏館跡第44次調査地点での現地説明会（右）、中心建物跡周辺でのイベント会場(左)の様子



**大友氏館跡 全景** 【撮影:2017年(平成29)11月 東より】一部合成

大友氏館跡東半分を調査した際の全景写真。これまでの発掘調査の結果、館は約200m四方の広大な敷地を持っていたことが分かっています。なお、写真奥に見える山は高崎山であり、山頂には大友氏が築いた高崎城跡が遺っています。



**大友館周辺復元イメージCG** 【2018年(平成30)9月作成 東より】

当時の調査成果を基に、大友館全体と周辺の町や施設をCGで表現したものです。大友館は、豊後府内と呼ばれた国際貿易都市の中心にあり、北部九州一円に覇を唱えた大大名・大友氏の権威を象徴する施設でした。

## 大友氏遺跡 第1期整備計画

大友宗麟公生誕500年となる、2030年に向けて大友氏館跡の歴史公園整備を進めていきます。

### ■歴史文化観光拠点施設の整備



写真は南蛮BVNGO交流館(歴史ゾーン)

南蛮BVNGO交流館に替わる、大友氏遺跡に関する調査研究や資料展示等の歴史系機能、体験学習等の文化系機能、レストラン・カフェ等の賑わい機能を併せ持つ、複合的な拠点施設を整備します。



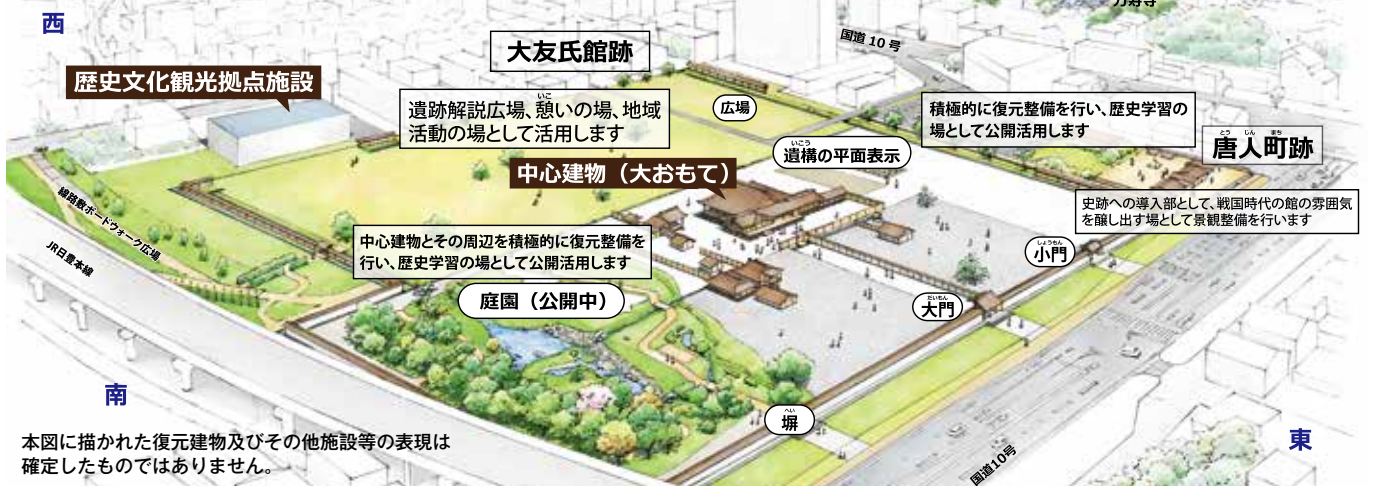
### ■大友氏館跡中心建物等の立体復元



中村泰明氏監修

大友氏館中心建物復元イメージCG

政治や儀式を行う中心建物をはじめとする建物群や、塀や門などの施設を整備して、戦国時代の大友館を体感できる場所をつくります。



本図に描かれた復元建物及びその他施設等の表現は確定したものではありません。

(仮称)大友氏館跡歴史公園イメージ図

## 発刊にあたって

平成13（2001）年8月13日に大友氏館跡の一部が国の史跡に指定され、大友氏遺跡の保存と活用の取組が始まってから、令和3（2021）年で20年の節目を迎えました。

本市では、大友宗麟公生誕500年となる令和12（2030）年を目途に大友氏館跡の建物復元等の整備完了をめざしております。本書は、史跡指定から現在までの事業の経過や内容、事業に関わった方々の様々な声を将来へ引き継ぐことを目的に作成いたしました。

戦国大名の館としては、全国屈指の規模を誇る大友氏館跡を代表とする大友氏遺跡は、本市のシンボルとして周知され、多くの方が来訪される場となりつつあります。これは、市民の皆様の多大なご協力と関係者の方々のご尽力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

本市といたしましては大友氏遺跡が、市民の誇りとなり愛されるものとなるよう、「南蛮文化発祥都市おおいたの創造・体感・発信拠点」を目標に整備・活用を進め、全国に向けて情報発信してまいります。

大友氏館跡の復元整備を第1期とする大友氏遺跡の整備は、長期の事業となることから次世代に向けて、市民や関係者の皆様から引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊のご挨拶とさせていただきます。



令和4年1月29日  
大分市長 佐藤 樹一郎

## 例 言

1. 本書は、平成13年（2001）8月13日に大友氏館跡が国の史跡に指定されて20年の節目を迎えたことを記念し、令和3年（2021）12月までの大分市における大友氏遺跡事業の歩みを記録するものとして刊行した。
2. 本書に掲載した写真は、出典の明記のないものは大分市教育委員会が撮影したものである。
3. 本書で使用する年代表記については、巻頭図版では西暦を、本文中では基本的には和暦を使用し、括弧書きで西暦を補った部分もある。
4. 本書は坪根伸也（大分市教育委員会文化財課長）の企画のもと、執筆及び編集を長直信（文化財課 文化財活用推進担当班）が担当した。資料編は長及び桐畑涼平・高木慎太郎・後藤舜果が行い、校正にあたっては、文化財活用推進担当班（加藤英治・小川将史・大橋彩乃・桐畑・高木）、及び文化財課専門職員（池邊千太郎・高島豊・塩地潤一・河野史郎・中西武尚・佐藤道文・永松正大・五十川雄也・松浦憲治・小野綾夏・山本尚人）の協力をえた。
5. 本書を執筆するにあたり、以下を参考にした。  
大分市教育委員会・中世都市研究会2001年『中世大友再発見フォーラム 南蛮都市・豊後府内 都市と交易』、大友遺跡検討委員会2002年『大友遺跡検討委員会報告書』、大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会2006年『大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会報告書』、大分市教育委員会2014年『大友氏遺跡保存管理計画』、大分市教育委員会2017年『大友氏遺跡整備基本計画（第1期）』、大分市教育委員会2020年『大友氏遺跡整備基本計画（第1期）令和元年度改訂版』、大分市教育委員会2015年『大友氏館跡1』、大分市教育委員会2021年『国指定史跡大友氏遺跡 大友氏館跡庭園整備報告書』、王永光洋2005年「大友氏を活かしたまちづくりへの取り組み」『大分県地方史』第191号大分県地方史研究会、坪根伸也2005年「大友氏遺跡とまちづくり-大友氏館跡・中世大友府内町跡の保存と活用への取り組み-」『遺跡学研究』第2号 遺跡学研究会、坪根伸也2019年「史跡大友氏遺跡の整備と活用【大分市】-市街中心部に所在する史跡の保護・保存・整備・活用の歩みと展望」『勝尾城筑紫氏遺跡と九州の史跡整備』岩田書院、松田陽・岡村勝行2012『入門パブリック・アーケオロジー』同成社

## 引用文献

本文中に引用した文献は以下の通りである。

- 大分市市民部市民協働推進課2019『協働のまちづくり大賞 事例集 令和元年度』  
市村高男2019「はしがき 本書刊行の趣旨」『勝尾城筑紫氏遺跡と九州の史跡整備』岩田書院ブックレット  
木村幾多郎1993「府内古図の成立」『大分市歴史資料館年報』1993年度  
高島豊2007「大友氏館跡第19次調査」『大分市 市内確認調査概報-2006年度-』大分市教育委員会  
高島豊2015「第1章 調査に至る経緯 第1節 府内古図と大友氏館跡の現地比定・第2節 確認調査と遺構の発見・第3節 史跡指定までの経過」『大友氏館跡1』大分市埋蔵文化財発掘調査報告書第138集  
竹内理三編1980『角川日本地名大辞典44 大分県』角川書店  
王永光洋2005年「大友氏を活かしたまちづくりへの取り組み」『大分県地方史』第191号大分県地方史研究会、  
渡辺澄夫1965「第七章大友氏の史跡 第一節大友時代の府内の都政」昭和30年版『大分市史』上巻